2022年4月7日リリース Mist 新機能のご紹介

ジュニパーネットワークス株式会社



はじめに

❖ 本ドキュメントは以下のリリースノートを抄訳したものです

https://www.mist.com/documentation/https://www.mist.com/documentation/April-7th-2022-updates/

- ❖ 本ドキュメントは2022年4月時点のMist cloudのGUIを使用しております
- ❖ 実際の画面と表示が異なる場合がございます
- ❖ 内容について不明な点、ご質問等がございましたら担当営業までお問い合わせください

本リリースで追加された機能一覧

Simplified Operation

- サイトナビゲーションメニューの改善
- サイトのインサイトページでのクライアントイベントの表示
- APインサイトページでのクライアントイベントの表示機能強化
- PSKとロールおよびVLANの紐づけ機能のGA

Marvis

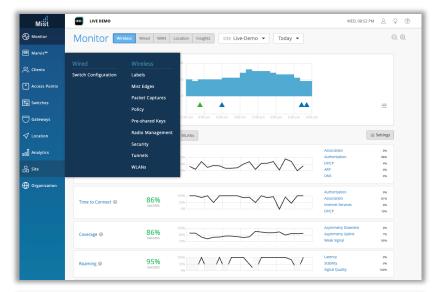
- 対話型アシスタントの利用の推奨
- ・ 対話型アシスタント: サイトの一覧表示機能

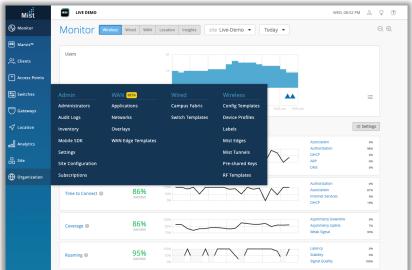
Wired/WAN Assurance

- EVPN/VXLAN マルチホーミング設定機能のGA
- 追加のスイッチモデルのサポート
- [ベータ]WAN assurance2.0

Simplified Operation

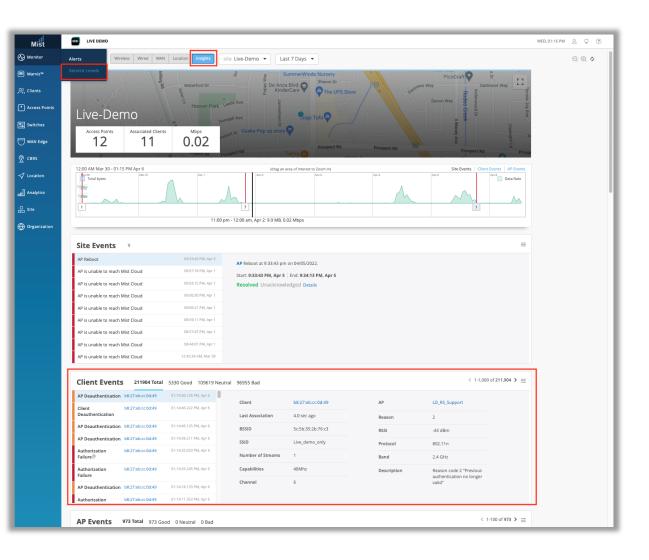
サイトナビゲーションメニューの改善





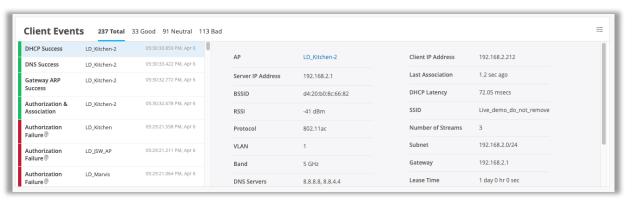
- サイトナビゲーションメニューが新しくなりました。
- サブメニューがアルファベット順に表示されるようになりました
- [Network]タブの名称を[Site]に変更し、[Organization]と[Site] 内のメニューをWAN、有線、ワイヤレスのサブメニューごとに表示するよう に変更しました

サイトのインサイトページでのクライアントイベントの表示



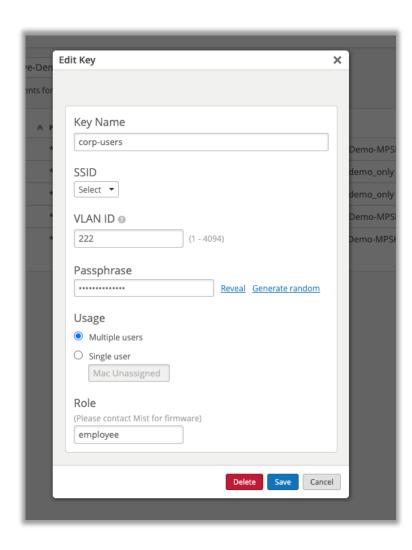
- サイトに属するクライアントのイベントがサイトのインサイトページでも表示 されるようになりました
- [Monitor] → [Service Level] → インサイトタブでサイトを選択するとサイトのインサイトページが表示されます

APインサイトページでのクライアントイベントの表示機能強化



- APインサイトページで表示されるクライアントイベント数が、従来の最大2時間までの時間制限がなくなり任意の時間範囲で表示できるようになりました
- 一度に表示できるイベントの制限は1,000です

PSKとロールおよびVLANの紐づけ機能のGA



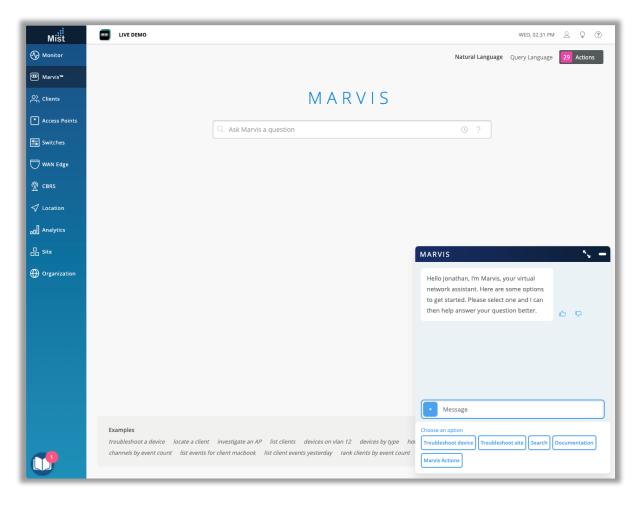
- ベータ機能として提供していたPSKとロールおよびVLAN IDの紐づけ 機能がGAになり、誰でも使えるようになりました
- 設定の詳細は以下のページをご参照ください

https://www.mist.com/documentation/multi-psk/

注意:ロール機能を使用するには、APがファームウェアバージョン0.10.x 以降で実行されている必要があります

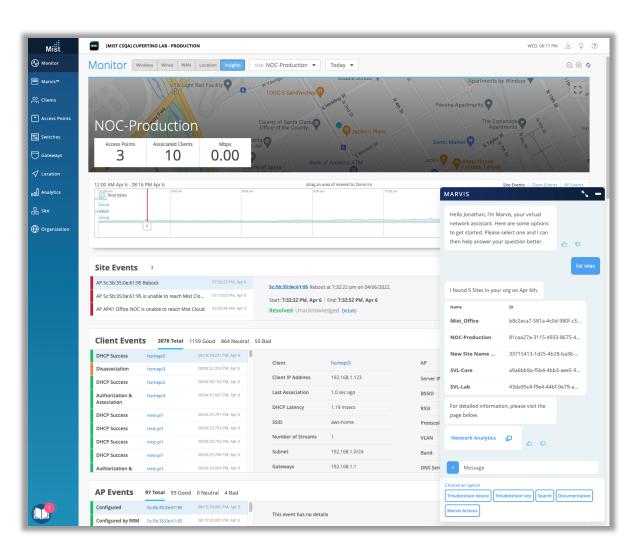
Marvis

対話型アシスタントの利用の推奨



- Marvis仮想ネットワークアシスタントのページで"Natural Language" を選択すると画面右下からMarvis対話型インタフェースがポップアップされるようになりました
- 本変更は初回のみ発生しますが、今後は会話形アシスタントを使用した クエリの実行への移行をおすすめします

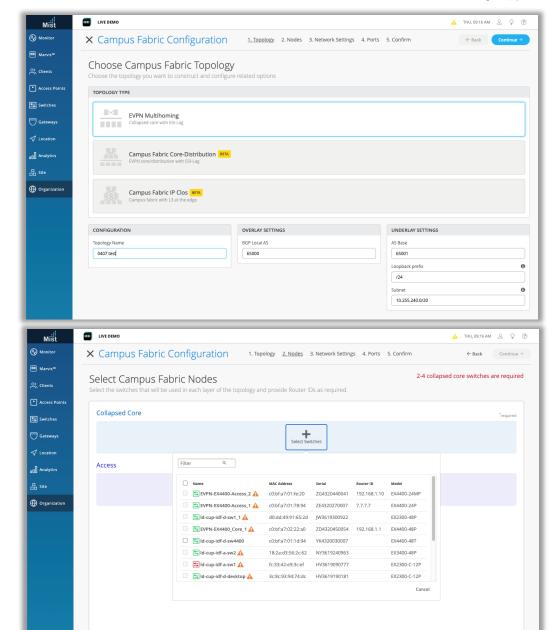
対話型アシスタント: サイトの一覧表示機能



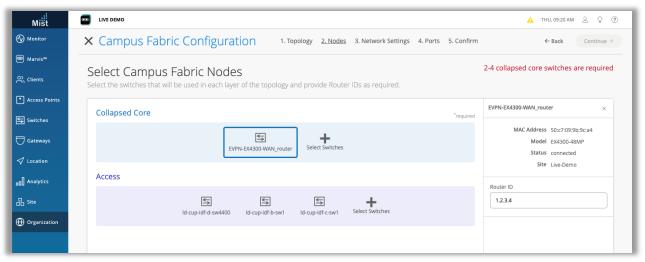
- Marvis対話アシスタントで "List sites"または"Show sites"とクエリーを 入力すると、Organization内の全てのサイトを一覧表示できます
- Network analyticsへのリンクも表示されます

Wired/WAN Assurance

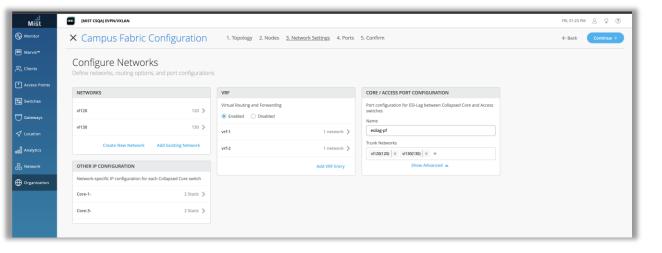
Juniper Business Use Only

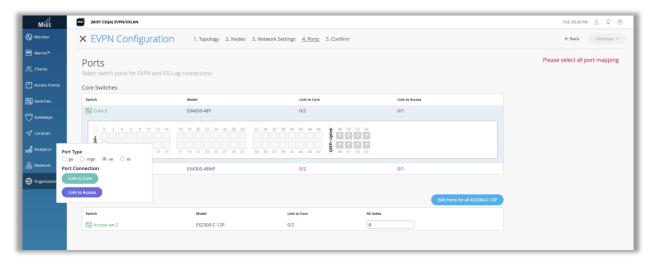


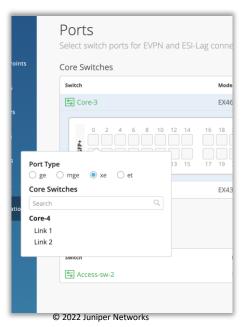
- EVPN/VXLANマルチホーミングの設定機能がWired assurance の正式な機能としてご利用いただけるようになりました
- [Organization] → [Wired] → [Campus Fabric]へ移動し、"create new fabric"を選択して設定を開始します
- 「手順1]コアスイッチ、アクセススイッチをリストから選択します

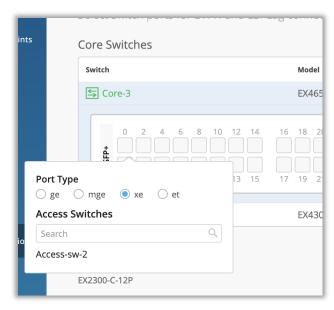


- [手順2]コアスイッチ側にはルータIDを設定します
- [手順3]ネットワーク設定タブでネットワーク、ルーティングオプション、ポート設定などを定義します

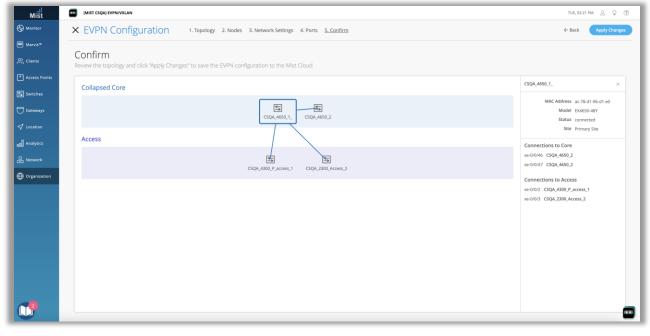








- [手順4]任意のポートを選択し、ポート接続タイプのいずれかをクリック します
- "Link to core"はコアスイッチ間のリンクです
- "Link to Access"はアクセススイッチとのリンクです



• [手順5]すべてのポートの選択が完了したら、[continue]をクリックし、 確認ページでトポロジを確認してから設定を適用します

追加のスイッチモデルのサポート



QFX10002-36Q



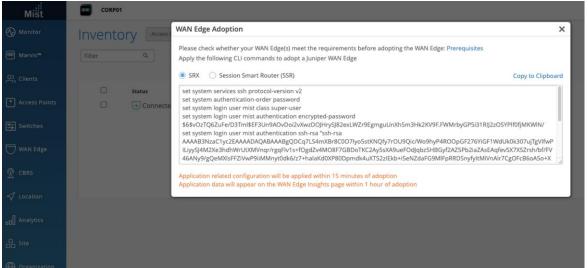
QFX10002-72Q



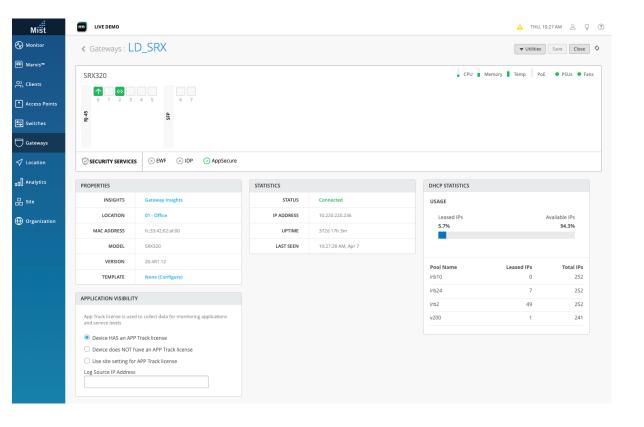
QFX10002-60C

- 以下のスイッチモデルがWired assuranceでサポートされるように なりました
- QFX10002-36Q
- QFX10002-60C
- QFX10002-72Q

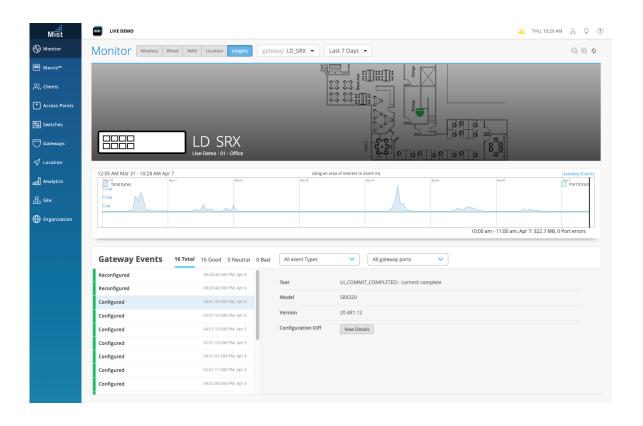




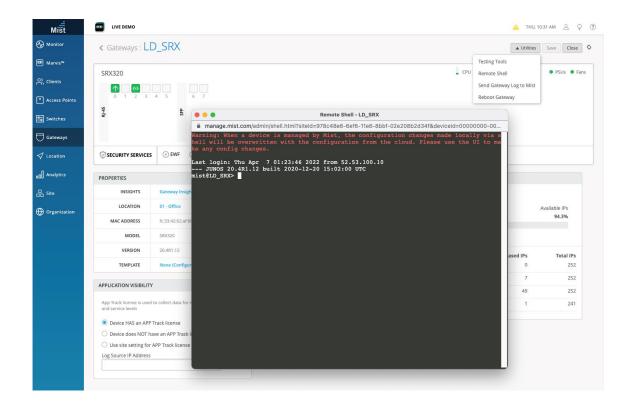
- SRXおよびSSRシリーズの設定をMistクラウド上で管理できるように なりました
- 新規導入分(Greenfield)、既存分(Brownfield)により機器のクレーム方法が用意されています
 - Greenfieldの場合はクレームコードまたはアクティベーションコードを入力することでクレームが完了します
 - Brownfieldの場合は"Adopt WAN edges"ボタンを押すと表示されるCLIをコピーし機器へ投入するとクレームされます



• クレームが完了し、機器がサイトへアサインされると[Gateway]セクションで機器の詳細を表示できます



• Gateway Insightをクリックするとその機器のインサイトページが表示されます



• CLIを使用して手動で入力するコマンドがある場合は、[Utility]ドロップダウンを選択し、[Remote shell]を選択します

Thank you

